茶のくに 八女・奥八女 CHANOKUNI YAME OKUYAME

八女市観光振興課　TEL 0943-23-1192

〒834-0031　福岡県八女市本町2-129　茶のくに八女・奥八女　検索

令和6年12月改訂

観る 知る 学ぶ 八女は楽しい

自然と歴史を楽しむ八女歩き

コース 01 八女

九州オルレ 八女コース

オルレって？

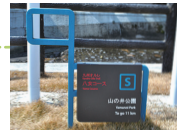
「オルレ」は韓国・済州島から始まったもので、もともとは済州の言葉で「通りから家に通じる狭い路地」という意味です。済州ではなじみ深い言葉ですが、トレッキングコースとして名付けられてからは全国的に有名になりました。オルレの魅力は海岸線や山などの自然、民家の路地などを身近に感じ、自分なりにゆっくり楽しみながら歩くところにあります。九州オルレは「済州オルレ」の姉妹版。どうぞ、九州の自然や文化、温泉などを五感でお楽しみください。

＊オルレのイベントを年に 5～6 回開催しています。

歩くときのポイント

公共交通機関で行けます

スタート・フィニッシュ地点にはバス停があります。



カンセからスタート

オルレには道に沿っていくつかの目印があります。スタートのカンセ（馬）の頭の方向に進みましょう。

スタンプを集めよう

コースには必ずスタンプが用意されています。

スタンプ設置場所　ミニストップ（山内）、江崎食品、岩戸山歴史文化交流館 いわいの郷

分岐点には矢印

方向が変わるときなどに、木製の矢印や地面などにペイントされた矢印があります。青が正方向で、赤が逆方向です。

リボンに沿って

見失わない程度の間隔で木の枝などに結んだリボンが見えてきます。リボンを探して進みましょう。

適した服装

靴

ミドルカットがオススメ

足首を適度に保護し、歩きやすさも兼ね備えています。ソール（靴底）が比較的柔らかいものを選びましょう。

リュック

20ℓ～30ℓが使いやすい

日帰りなら20～25ℓくらいがおすすめです。1泊と兼用なら30ℓくらいが良いでしょう。

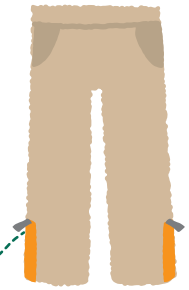
雨の準備

トレッキング用レインウェア

フードのひさしに芯が入っていると視覚良好。顔周りのサイズ調整が出来れば便利。

リュックを背負ってもジャマにならないところにポケットがあるものを。

濡れやすい足下をしっかりカバー。靴を履いたままでも着脱できるよう、ファスナーがあればベスト。



※詳しくはスポーツ用品店やアウトドアショップ等でお尋ねください。

案内人の紹介 九州オルレ八女ガイドの会

コース各所に点在している風光明媚な景色、古墳や山城といった八女の地に刻まれた史跡の数々についてもご紹介いたします。その他、コース行程や時間など、さまざまなご要望にお応えいたしますので、お気軽にご相談ください。

料 ガイド料金（有料）

申 事前に（一週間前まで）お申し込みください。

ご予約・お問い合わせ…八女市観光振興課 TEL:0943-23-1192

八女茶と古代ロマンあふれる八女コースでオルレを満喫！

八女コースは清流星野川の流れを感じながらスタート地点である山の井公園を出発し、八女古墳群最後の歴代墓である童男山古墳に立ち寄り、茶どころ八女の代表格である八女中央大茶園が圧倒的なスケールで私たちを迎えてくれます。道中には国指定史跡の丸山塚古墳があり、ゴール地点では北部九州最大の前方後円墳である国指定史跡「岩戸山古墳」と出土品をそろえた岩戸山歴史文化交流館があり、八女が誇る自然の豊かさや茶のくにの懐深さ、そして八女丘陵からの風光明媚な眺望など、変化に富んだ眺望や歴史ロマンを堪能する事ができます。

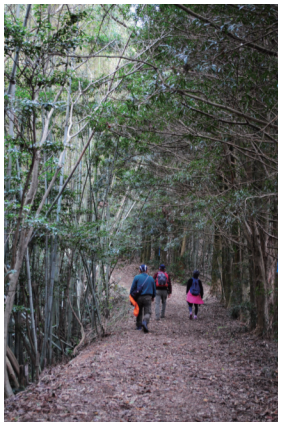
●距離＝11km　●所要時間＝約3～4時間

八女中央大茶園

岩戸山古墳

童男山古墳
6世紀後半に築造された大型円墳。石室に入れます。

丸山塚古墳


天然のさくさくじゅうたん
秋にはクヌギの葉が敷き詰められ、まるで天然のじゅうたん！

極上のあぜみち
あぜ道の傍らには清らかな小川が流れ、春には野の花が咲き、秋には黄金色の稲穂が実る。
まさに極上!!

コース 02 黒木

森林セラピーロード

森林セラピー®って？

森に足を踏み入れると、一面に緑が覆い、木々や土が香り、森に息づくいのちや力を感じることができます。そしてその力は私たちを癒し、リラックスさせてくれます。森林の持つこれらの効果は、これまでも「森林浴」として親しまれてきました。しかし、その効能については医学的なデータが少なく客観的な根拠が整っていませんでした。

そこで、唾液中のストレスホルモンや心拍変動や、血中の抗ガンタンパク質の変化など森林浴がもたらす生体反応を医学的に計測し、森の効能を医学的なエビデンス（証拠）に裏付けすることによって、森林環境を利用した『心』と『身体』の健康に活かそうという取組が「森林セラピー」なのです。いわば、一歩進んだ森林浴なのです。

歩くときのポイント

森を五感で感じよう

01. 聴く

ささやかな森の音に天然の鎮静効果があります。

02. 触れる

自然由来のものに触れると、心が落ち着く作用があります。

03. 嗅ぐ

木の香りには怒りや緊張などを緩和させる効果があります。

04. 味わう

森林は有機物の宝庫。大地の滋味を味わって森の恵みを堪能して下さい。

05. 見る

森の風景を見ることで血圧の低下や脳活動が鎮静化するなどの作用をもたらします。

適した服装

靴

ミドルカットがオススメ

足首を適度に保護し、歩きやすさも兼ね備えています。ソール（靴底）が比較的柔らかいものを選びましょう。

リュック

20ℓ～30ℓが使いやすい

日帰りなら20～25ℓくらいがおすすめです。1泊と兼用なら30ℓくらいが良いでしょう。

雨の準備

トレッキング用レインウェア

フードのひさしに芯が入っていると視覚良好。顔周りのサイズ調整が出来れば便利。

リュックを背負ってもジャマにならないところにポケットがあるものを。

雨の中を歩いた後は、グリーンピア八女のお風呂でゆっくりと温まりませんか。

着替えやタオルをお持ち下さい。

案内人の紹介 森の案内人

本基地では、訪れる方に「心」も「身体」もくつろいでもらうため、「森の案内人」が一緒に森を散策します。森の案内人は、訪れる方に五感をフルに使った森の楽しみ方を提供するとともに、最適なコースを最適なペースで案内し、森の持つ癒やしの効果を最大限に感じてもらうためのお手伝いをします。（※要予約、有料）なお、場合によっては、森の案内人の都合により、受け付けできない場合がありますので、ご了承ください。

料 案内料金有料（詳細は八女市ホームページをご確認ください。）

申 3日前まで

※2名からご利用いただけます。※スタート時間は、9:00～16:00の間でお選びください。
※3歳以下のご利用は、事故防止の為お断りしています。※ペット同伴によるご利用はお断りしております。

ご予約・お問い合わせ…くつろぎの森 グリーンピア八女 TEL:0943-42-2400

森林セラピーロード 01

どんぐり拾いの小道 ……全長1,770m

初夏は緑のトンネルが美しく、秋はドングリ、
冬は山茶花など四季の表情が楽しめます。

森林セラピーロード 02

泉と小島への散歩道 ……全長1,830m

コナラの林を抜け、四季折々の木立が水面に
美しく映る山中池を通るコース。

森林セラピーロード 03

熊笹と湖の小道 ……全長2,260m

善蔵池をぐるりと回るコース。熊笹とキラキラと光る木もれ日、
水面に映る木々、広がる山里のパノラマは必見です。

コース 03 八女

八女・福島の町並み

白壁の町並みを歩こう！

八女福島の白壁の町並み【国選定重要伝統的建造物群保存地区】

八女福島の町家は土蔵造りが多く、商家的な色彩と職人の工房的な色彩を併せ持った町並みで、伝統工芸品の工房・店舗が多いのも特徴です。工房的な造りは特に町並みの西側に多く集中しています。江戸、明治、大正、昭和初期の伝統様式の150軒ほどの建物が旧往還道路沿いに連なっています。

横町町家交流館では町並みの魅力や歴史を紹介しています

八女福島地区の造り酒屋

伝統的な造り酒屋も八女福島地区の大きな魅力のひとつ。江戸時代から続く老舗酒蔵を訪ねながら、町並みを散策したり、地酒を飲んで休憩したり、ゆっくりと八女を味わってみませんか。

高橋商店

喜多屋

適した服装・歩きのポイント

服装

普段着や着物がおすすめ

町中なので普段着が最もベスト。伝統様式の建物が多いので着物で町を歩いてみるのもおすすめです。

白壁の町並みを見ながら歩く

国選定重要伝統的建造物群保存地区である白壁の町並みは魅力がたっぷり。瓦や壁に施された縁起物を探したり、ゆっくりと堪能しながら歩きましょう。車に注意。

八女福島のおいしい食を味わう

八女福島には小休憩にぴったりのカフェやおいしいお食事処がたくさんあります。

案内人の紹介 観光案内人

江戸時代、物産の集積地として栄えた八女。豊かな自然に囲まれた中、仏壇、提灯、石灯籠、手すき和紙などの伝統工芸も多く、職人の技が生きています。江戸時代の面影が残る町並みや工房など、八女の魅力をご案内します。

料 1～10名まで 1時間 1,500円（税込）
11名以上 1時間 1人あたり100円

申 1週間前まで

町並みガイドコースについてはこちら▼

お問合せ・お申込はこちら▼

ご予約・お問い合わせ…八女伝統工芸館（月曜休館日・祝日の場合開館）TEL:0943-22-3131

コース03 八女 八女・福島の町並み

許斐家（許斐本家） 市指定文化財

創業宝永年間（1704～1710）、矢部屋と号し製茶問屋、輸出茶商を営む。左端には茶の審査場が復原された。江戸末期築、見学可。

旧木下家住宅（堺屋） 市指定文化財

木下家は江戸時代から始まり、「堺屋」の屋号で代々酒造業を営みながら栄えた旧家。明治41年完成の「離れ座敷」は屋久杉の一枚板で造られた欄干や紫檀の床框などが見られる。見学可。

土橋市場

全国でも珍しい神社の境内にある飲み屋街。足を踏み入れると、昭和レトロな雰囲気の中に雑貨店など新しいお店も並ぶディープなスポット。建物に埋もれるような鳥居や楼門など、撮影スポットとしても人気。

トンネル藤

昭和60年に廃線になった旧国鉄（現JR）矢部線。線路跡地に架かる全長510mの藤棚には、その線路のレールが使われており、トンネル藤の愛称で親しまれています。

コース 04 上陽

上陽咲さるこ（かむつやめ）

川辺の道 ひふみよ橋コース

SALUCO

上陽咲さるこって？

歴史と自然を「ぶらぶら見て歩こう」という思いから

『上陽咲（かむつやめ）』は上陽町の由来の元となる地名呼称から、また『さるこ』は八女地方の方言で、「さるく」（あちこち歩き回る）の勧誘・意思を示す言葉「さるこい」からきています。上陽が守ってきた地域の魅力、自然の原風景と時代ごとに構築されてきた風景を楽しみながら散策してもらいたいという思いから、「ぶらぶら見て歩く」といった意味合いを持つ「さるこ」とし、「上陽咲さるこ」になりました。

ダニエルイノウエミュージアム

一緒に「さるく」仲間とおしゃべりを楽しんでほしいから

自然の景観を楽しむだけでなく、楽しいおしゃべりをしながら共に心のキャッチボールをしてほしいという思いもあり、親しみを込めて八女地方の方言「さるく」を使用しています。コースは歴史と文化の宝庫。さるくと郷土が誇らしくなるでしょう。

歩くときのポイント さるこの心得

さるこコースは、地域の魅力を身近に感じてもらうため、公園や川の近く、車道などさまざまなルートを通って散策していきます。
気持ちよく散策できるよう、ルールを守って楽しくさるきましょう。

- ○ゴミはきちんと持ち帰りましょう。
- ○車道を通りますので複数列にならないよう注意して歩きましょう。
- ○そこで暮らすペットを脅かしてはいけません。
- ○田畑に植えられた作物や植物を勝手に採取したり荒らしたりしてはいけません。
- ○火災防止のため、火気の取り扱いには細心の注意をしましょう。

案内人の紹介 コース案内人

さるこコースは、自然の景観等を楽しむことが出来るとともに、築きあげられた歴史の宝庫でもあります。そのコース案内人と一緒に楽しむのもひとつの方法です。詳しい内容については、さるこ公式ホームページにて確認をお願いします。予約申し込みなどは、記載のさるこ協会メールアドレスまで2週間程の余裕をもってお願いします。

料 有料

フェイスブック　インスタ　ホームページ

ご予約・お問い合わせ……八女市上陽咲さるこ協会（事務局：上陽地区まちづくり協議会）
メール：kamutsuyamesaluco@gmail.com

コース 04 上陽

上陽咲さるこ
ひふみよ橋コース

● おすすめポイント

○山の井公園までの移動には、堀川バスをご利用ください。
・多目的広場東側駐車場に車を駐車して下さい。
・コース区間は、堀川バス星野・福島線 北川内バス停から上山内バス停まで

ひふみよ橋の名称の由来

上陽地区には13の石橋が現存しています。中でも有名なのは、コースの名称でもある「1連の洗玉橋」、「2連の寄口橋」、「3連の大瀬橋」、「4連の宮ヶ原橋」の4つの橋を総称する「ひふみよ橋」。周囲の豊かな自然を楽しみながら建築の歴史を味わうことができるのもこのコースの醍醐味です。

1連の洗玉橋

2連の寄口橋

3連の大瀬橋

4連の宮ヶ原橋

古川堰

宮ヶ原公園

宮地嶽神社

北川内公園

ダニエル イノウエ ミュージアム

八女市上陽町にルーツを持つ元アメリカ合衆国上院議員故ダニエル・建・イノウエ氏の功績を紹介する展示室、カフェやショップ等を備えた観光交流施設。

オハナマート
【☎】0943-24-8778
【営】10:00～17:00
【休】水曜日

コース 05 上陽

いにしえの道 トレッキングマップ

「いにしえの道」の歴史

「いにしえの道」は、自動車のない時代に、八女市上陽町下横山地区の山間部にある集落、尾久保集落・木浦集落から、耳納連山の尾根を越えて、久留米市草野町に至る重要な物資流通の道として活用されていました。また、旧尾久保小学校では、歓迎遠足やお別れ遠足でグライダー山まで歩いて行って弁当を食べて、小学校まで帰ってくるのが恒例となっていたそうです。
グライダー山からの素晴らしい眺望を目指してトレッキングをお楽しみ下さい。
復路は往路を戻るコースとグライダー山の下を東西に通っている耳納スカイラインを西へ進み、耳納平から上陽町下横山方面へ南下して、朧大橋を渡ってみんなの館まで戻るコースがあります。

旧尾久保小学校（スタート地点）

グライダー山からの眺望（ゴール地点）

茶畑

石の道標

杉のはやし

小笹のトンネル